

地震、津波備え万全に 12万人が避難訓練



隣接する津波避難ビルの屋上に避難した愛育保育園の園児ら＝5日午後、北谷町浜川

大きな地震や津波が発生したことを想定した大規模な避難訓練が5日、全県で行われた。東日本大震災を教訓に県や各市町村が主催してことし初めて実施され、約800団体(約12万人)が参加した。

県内全域の携帯電話に訓練の実施をメールで一斉送信し、情報の伝達についても確認した。

住民が米軍基地内を通って高台に逃げたり、津波



0歳から5歳児まで11クラス170人が、職員や保護者らと共に隣接する8階建てのビルの屋上まで階段を上がり避難した。野国昌春北谷町長や役場職員も多数参加した。

災害発生に備えて西海岸の33施設を津波避難ビルに指定している北谷町の愛育保育園では、園児らが隣のビルへ避難する訓練が実施された。

を避けるために高いビルに上ったりする訓練も行われた。

災害発生に備えて西海岸の33施設を津波避難ビルに指定している北谷町の愛育保育園では、園児らが隣のビルへ避難する訓練が実施された。

を避けるために高いビルに上ったりする訓練も行われた。